



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月14日

上場会社名 株式会社くすりの窓口 上場取引所 東
 コード番号 5592 URL <https://kusurinomadoguchi.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 堤 幸治
 問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長（氏名） 外間 健 (TEL) 03-6712-7406
 半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	5,825	7.0	1,262	32.9	1,252	35.7	1,620	190.5
2025年3月期中間期	5,443	27.9	949	12.7	922	8.5	558	5.0

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 1,667百万円(202.0%) 2025年3月期中間期 552百万円(1.8%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	145.00	142.83
2025年3月期中間期	50.82	49.60

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	13,336	9,409	69.9
2025年3月期	12,157	8,516	69.5

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 9,320百万円 2025年3月期 8,451百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	27.00	27.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,300	9.8	2,200	12.6	2,135	10.0	2,240	10.1	199.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) — 除外 一社 (社名) —

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期中間期	11,223,000株	2025年3月期	11,223,000株
2026年3月期中間期	106,122株	2025年3月期	57株
2026年3月期中間期	11,177,649株	2025年3月期中間期	10,980,000株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国の経済は、世界的な原材料価格高騰、人件費増などの物価高の影響を受けており、依然として今後も先行きが不透明な状況が続くと見込まれます。

後期高齢者医療制度により、75歳以上の医療費自己負担率は一定以上の所得がある方を除き3割から1割となるため、国が負担する医療費の増加要因となりますが、特に2025年は団塊の世代が後期高齢者となるため、社会保障費の増大が懸念されております。

また、人口の多い団塊の世代の医療や介護の需要が急増し、現行の医療及び介護制度では十分に対応しきれずに地域医療の崩壊や介護難民の発生も懸念されております。

このため、厚生労働省などは、医療DXの推進や地域包括ケアシステムの整備を進めております。

地域包括ケアシステムとは、高齢者が住み慣れた地域で、最後まで自分らしく暮らせるように支える仕組みです。急速に増える高齢者に対して、ひとつの病院中心の対応では限界があり、地域全体で支え合う体制が求められております。

このような市場動向においては、調剤薬局をはじめとするヘルスケア領域においてITやAI技術を活用した様々なサービスや商品を展開している当社グループにとって、好機が継続するものと予想しております。

当社グループは、重要課題であるメディア事業における処方箋ネット受付の予約件数の増加、みんなのお薬箱事業における調剤薬局や医療機関の医薬品流通金額の増加、基幹システム事業における他事業で蓄積したデータとの連携強化による付加価値の創出に努めてまいりました。

その結果、当中間連結会計期間においては、前期の調剤報酬改定の加算対象や補助金対象のサービス特需が一巡したことでショット売上は減少しましたが、ストック売上は3事業ともに着実に積み上げた結果、売上高は5,825,099千円(前年同期比7.0%増)、第1四半期から引き続き子会社の合理化をはじめとする当社を含めたグループ全体のコスト適正化に努めたことで営業利益は1,262,177千円(同32.9%増)、経常利益は1,252,139千円(同35.7%増)となりました。資本金の額を40,000千円に減少したことで繰越欠損金に係る繰延税金資産を追加計上した結果、当中間連結会計期間の法人税等調整額は△501,486千円となり、親会社株主に帰属する中間純利益は1,620,870千円(同190.5%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末と比較して117,452千円減少し、6,111,584千円となりました。これは主に、短期借入金及びみんなのお薬箱事業の仕入サポートサービスにおける支払期間と回収期間の差の一時的な影響により現金及び預金が149,945千円減少したこと、商品及び製品が58,737千円増加したことによるものであります。

固定資産は7,225,178千円となり、前連結会計年度末に比べ1,296,888千円増加となりました。

これは主に役員及び従業員に対する株式取得資金を貸付けたことによるものと減資に伴う繰延税金資産を追加計上したことにより、投資その他の資産が1,138,125千円増加したことによるものであります。また、ソフトウェアの増加により無形固定資産は158,075千円増加いたしました。

この結果、総資産は前連結会計年度末と比較して1,179,436千円増加し、13,336,763千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して488,009千円減少し、2,637,053千円となりました。これは、みんなのお薬箱事業の仕入サポートサービスにおける支払期間と回収期間の差の一時的な影響による未払金が305,986千円減少したことなどによるものであります。固定負債は1,290,193千円となり、前連結会計年度末に比べ774,779千円増加となりました。これは長期借入金が834,592千円増加したことによるものであります。この結果、負債合計は前連結会計年度末と比較して286,769千円増加し、3,927,246千円となりました。

純資産は、前連結会計年度末と比較して892,666千円増加し、9,409,517千円となりました。これは主に利益剰余金の増加等により株主資本が845,859千円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ149,945千円減少し、1,954,149千円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,068,426千円(前年同期の資金の獲得は、1,256,987千円)となりました。主な増加要因は税金等調整前中間純利益1,251,903千円の計上、減価償却費681,888千円の計上(前年同期は、599,267千円の計上)等によるものであり、主な減少要因は未払金の減少額305,986千円(前年同期は、409,508千円の増加)、売上債権の増加額45,990千円(前年同期は、350,999千円の増加)、法人税等の支払額338,898千円(前年同期は、448,846千円の支払)によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は1,463,411千円(前年同期の資金の支出は、908,087千円)となりました。これは主に無形固定資産(ソフトウェア等)の取得による支出900,118千円(前年同期の資金の支出は、895,784千円)、役員及び従業員に対する株式取得資金の貸付けによる支出522,716千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は245,039千円(前年同期の資金の支出は、5,132,646千円)となりました。これは主に自己株式の取得のための長期借入金による収入1,000,000千円、自己株式の取得による支出1,007,671千円、自己株式の処分による収入535,680千円、配当金の支払額264,765千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,104,095	1,954,149
受取手形、売掛金及び契約資産	3,520,234	3,566,225
その他	604,727	594,311
貸倒引当金	△21	△3,102
流動資産合計	6,229,037	6,111,584
固定資産		
有形固定資産	142,641	143,328
無形固定資産		
のれん	507,613	468,267
ソフトウェア	3,672,381	3,842,933
その他	321,731	348,601
無形固定資産合計	4,501,726	4,659,802
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,068,923	1,559,563
その他	309,803	961,826
貸倒引当金	△94,805	△99,342
投資その他の資産合計	1,283,921	2,422,047
固定資産合計	5,928,289	7,225,178
資産合計	12,157,327	13,336,763

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	147,667	121,866
未払金	1,349,900	1,043,913
未払法人税等	346,796	171,585
引当金	186,187	135,714
その他	1,094,510	1,163,973
流動負債合計	3,125,062	2,637,053
固定負債		
長期借入金	63,775	898,367
その他	451,639	391,826
固定負債合計	515,414	1,290,193
負債合計	3,640,476	3,927,246
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,576,976	40,000
資本剰余金	3,025,550	4,518,024
利益剰余金	3,847,793	5,165,644
自己株式	△81	△427,570
株主資本合計	8,450,239	9,296,098
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,219	24,202
その他の包括利益累計額合計	1,219	24,202
新株予約権	835	835
非支配株主持分	64,557	88,380
純資産合計	8,516,850	9,409,517
負債純資産合計	12,157,327	13,336,763

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	5,443,919	5,825,099
売上原価	2,210,158	2,517,018
売上総利益	3,233,760	3,308,080
販売費及び一般管理費	2,283,843	2,045,903
営業利益	949,916	1,262,177
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,995	3,189
持分法による投資利益	—	15,140
受取手数料	2,439	—
その他	5,198	8,532
営業外収益合計	9,633	26,862
営業外費用		
支払利息	4,011	1,506
持分法による投資損失	31,497	—
和解金	—	34,096
その他	1,243	1,297
営業外費用合計	36,751	36,900
経常利益	922,798	1,252,139
特別利益		
新株予約権戻入益	36	—
特別利益合計	36	—
特別損失		
固定資産除却損	0	235
特別損失合計	0	235
税金等調整前中間純利益	922,834	1,251,903
法人税、住民税及び事業税	344,964	108,696
法人税等調整額	25,705	△501,486
法人税等合計	370,670	△392,790
中間純利益	552,164	1,644,693
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	△5,850	23,823
親会社株主に帰属する中間純利益	558,015	1,620,870

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	552,164	1,644,693
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	22,983
その他の包括利益合計	—	22,983
中間包括利益	552,164	1,667,677
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	558,015	1,643,853
非支配株主に係る中間包括利益	△5,850	23,823

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	922,834	1,251,903
減価償却費	599,267	681,888
のれん償却額	43,691	39,345
貸倒引当金の増減額(△は減少)	35,298	7,618
賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,594	△31,454
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,000	△13,200
販売促進引当金の増減額(△は減少)	△2,295	△1,297
売上値引引当金の増減額(△は減少)	△14,827	△4,521
支払利息	4,011	1,506
持分法による投資損益(△は益)	31,497	△15,140
その他の営業外損益(△は益)	△2,022	△4,452
売上債権の増減額(△は増加)	△350,999	△45,990
仕入債務の増減額(△は減少)	△45,564	△25,800
固定資産除却損	0	235
未収入金の増減額(△は増加)	△14,653	△9,114
未払金の増減額(△は減少)	409,508	△305,986
その他の資産の増減額(△は増加)	△55,604	△39,170
その他の負債の増減額(△は減少)	167,015	△80,254
その他	1,135	1,633
小計	1,707,697	1,407,747
利息及び配当金の受取額	1,642	2,861
利息の支払額	△3,505	△3,282
法人税等の支払額	△448,846	△338,898
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,256,987	1,068,426
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△15,723	△12,382
投資有価証券の取得による支出	—	△73,866
投資有価証券の売却による収入	1,564	490
無形固定資産の取得による支出	△895,784	△900,118
投資有価証券の償還による収入	—	50,000
関係会社株式の取得による支出	△490	—
貸付けによる支出	—	△6,000
役員及び従業員に対する貸付けによる支出	—	△522,716
投資その他の資産の増減額(△は増加)	2,345	1,181
投資活動によるキャッシュ・フロー	△908,087	△1,463,411

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	5,000,000	1,000,000
短期借入金の返済による支出	△10,100,000	△1,000,000
長期借入れによる収入	—	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△19,724	△17,676
自己株式の取得による支出	—	△1,007,671
自己株式の処分による収入	—	535,680
配当金の支払額	—	△264,765
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△528	△528
その他の収入	5,004	—
その他の支出	△17,398	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,132,646	245,039
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,783,746	△149,945
現金及び現金同等物の期首残高	14,590,947	2,104,095
現金及び現金同等物の中間期末残高	9,807,200	1,954,149

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額の著しい変動

当社は、2025年8月25日開催の取締役会決議に基づき、自己株式250,000株の取得を行っております。また、2025年9月10日開催の取締役会決議により第三者割当による自己株式144,000株の処分を行っております。この結果、当中間連結会計期間において、自己株式が427,488千円増加し、当中間連結会計期間末において自己株式が427,570千円となっております。

当社は、2025年6月24日開催の定時株主総会の決議に基づき、2025年9月1日付で減資の効力が発生し、資本金が1,536,976千円減少し、この減少額全額をその他資本剰余金へ振り替えております。また、2025年9月10日開催の取締役会決議に基づき、2025年9月26日付で第三者割当による自己株式の処分を行っており、当該自己株式の処分に伴い、自己株式処分差損44,502千円を計上しております。これらの結果、当中間連結会計期間末において資本金が40,000千円、資本剰余金が4,518,024千円となっております。

(セグメント情報等)

当社グループは薬局、医療、介護向けソリューションの提供の単一セグメントであるため、記載を省略しております。